

Member Circular 12/2016

共同海損 - 2016年ヨーク・アントワープ規則(YAR 2016)が万国海法会(CMI)で採択

こちらは、英文記事「[General Average – “York Antwerp Rules \(YAR\) 2016” adopted by the Comité Maritime International \(CMI\)](#)」(2016年7月22日)の和訳です。

メンバー各位

CMIの国際作業グループによる4年間に及ぶ考察・検討を経て、YAR 2016が5月初旬にニューヨークで開催されたCMI総会において採択されました。

今回YAR 2016が採択されたことによって、YAR 2004(このYAR 2004は、2004年に採択されたものの船主からの支持は得られず、十分に定着し理解されていたYAR 1994とは異なり、ほとんど使用されることはありませんでした。)が採択されて以降12年に及んだ船主と海上保険会社にとって不確実な時代に終わりが告げられることとなります。YAR 2016は、国際P&Iグループ、国際海損精算人協会、各国海事法協会、ICS(国際海運会議所)、BIMCO(ボルチック国際海運協議会)、IUMI(国際海上保険連合)などから意見を募集し、国際作業グループが広範囲にわたる見直しを行って策定されたものです。

YAR 2004において異論が多かった分野のほとんどが、YAR 2016では十分に見直されています。その主な点は以下のとおりです。

- 救助報酬(VI条)の精算の取扱いについて、YAR 2004とは異なり、救助報酬は共同海損に認容される。ただし、精算人の判断により、VI条(b)の(i)乃至(v)に明記された基準のいずれかが満たされた場合に限る。(基本的に、救助報酬を共同海損に含めることで大きな財政上の差が生じる場合のみ認められる。)
- 避難港における出費(X条)について、YAR 1994の表現が維持された。
- 避難港における乗組員の給食料(XI条)について、規定の適用に関して追加の明確化がなされた上で、YAR 1994の表現が維持された。
- 仮修繕費(XIV条)の取扱いについて、共同の航海を安全に完遂させるために必要かつ本修繕をしていたらかかる費用よりも節約できる場合、避難港で行われた仮修繕の費用を共同海損に含めることを認容する、YAR 1994の表現が維持された。
- 低額貨物の除外(XVII条)について、低額貨物を共同海損の精算に含めた場合のコストが、最終的な分担額と比較して大きすぎると精算人が判断した場合は、当該貨物を分担金から除外することができる旨の新規定が盛り込まれた。
- 手数料および利息(XX条およびXXI条)に関する規定について、共同海損立替費用に対する2%の手数料を定めたYAR 1994の規定が廃止され、共同海損出費、共同海損犠牲損害、認容額の精算通貨には12か月物のICE LIBORに4%を加算して算出される合意利率が規定された。

これら以外にもYAR 2004に対する修正・改正点がいくつもありますが、全般的に見てYAR 2016は、ICSとBIMCOが表明し、国際P&Iグループが支持した、船主の不安を十分に払拭したものであり、運送契約において広範囲に採用されることが期待されます。5月にコペンハーゲンで開催されたBIMCOの文書委員会の会議では、BIMCOの用船契約書と船荷証券において、共同海損は今後YAR 2016によって精算されるべき旨を記載することが合意されました。またICSの海事法委員会は、過去4年間の変更案を注視してきた後に、討議草案に同意しました。よって、ICSは、2016年9月に開催される次回会議において、加盟する各国船主協会に対してYAR 2016の採用を強く推奨するものと予想されます。

国際作業グループは、YAR 2016 の採択と同時に共同海損に関するガイドラインを策定し、同ガイドラインも CMI 総会において承認を受けました。このガイドラインは、共同海損となったケースの扱いを支援し、基本的原則の背景情報、広く認知されたベストプラクティスに関するガイダンス、共同海損の精算手続きの概要を提供することを目的としたものです。なお、このガイドラインは YAR の一部を構成するものでも強制力を持つものでもなく、YAR 自体の規定に優先またはそれを変更することを意図したものでもありません。このガイドラインは、随時生きた文書として常任の審査委員会の監督下で定期的に更新される予定です。

YAR 2016 と同ガイドラインの内容は、以下のリンクからご覧いただけます。

http://static.igpandi.org/igpi_website/media/article_attachments/York-Antwerp_rules_adopted_by_the_CMI.pdf (英文のみ)

国際 P&I グループ加盟各クラブは、YAR 2016 の採択を歓迎・支持し、今後メンバーが運送契約を締結する際には YAR 2016 を摂取することを推奨いたします。YAR 2016 を摂取することで、クラブの保険カバーに影響することはありません。

上記に関するご質問は、[Kjetil Eivindstad](#) (Gard AS) または [ガードジャパン株式会社](#) までお問い合わせください。

国際 P&I グループに加入するすべてのクラブが同様のサーキュラーを発行しています。

敬具
GARD AS



Rolf Thore Roppestad
CEO (最高経営責任者)

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。
本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。